

新宮山彦ぐるーぷ第1872回

深仙宿小屋・第二次窓取付け仕上げ工事

◇実施日：平成28年5月1日（日）

◇参加者：松本吉殖、畑林秀実、坂口秩巨、梶野照雄。4名。

5月1日（日）晴

松本さんから、「1日に日帰りで窓を仕上げる」と連絡があり、青木さんから依頼のあった、ザックを引っ掛けるフックを調達して午前4時に家を出た。

R168の迂回路も整備されて、登山口には6時10分に到着した。駐車場はすでに満車状態、松本車は午前7時に到着した。



登山口で

古田の森で

深仙宿小屋到着

深仙宿小屋、10時に到着。外壁の波板を剥がして、外側の仕上げに掛かる。しばらく工事を3人にお任せしてフックの取付けをする。取付け後、電流計でLEDの電流を測ってみた。約400mAだった。消費電力4.8W、バッテリーの容量からすると十分余裕のある値だ。



取付けるパーツ



波板の切断



再取付

窓周りの仕上げは松本さんの独壇場で、事前に作ってこられたパーツの寸法を合わせて切断して取付けていく。一旦外した外壁の波板も切断して再取付け、外側が出来上がった後、内壁の合板を切り取った。



内壁を切り取る



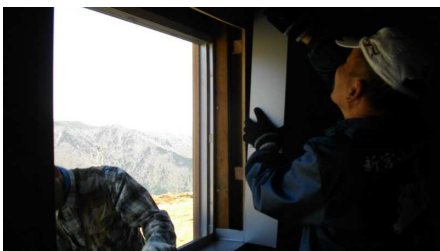
穴が開いた、明るい！



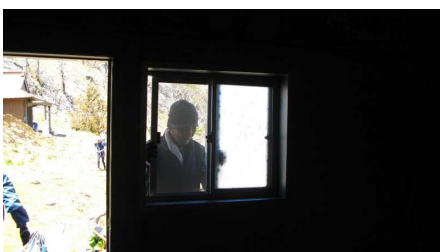
外から



法螺も聞きたかったが



内側の仕上げ



ガラス戸が入る



網戸もある



ザック用フック



本日の参加者

窓の穴が開いたところで12時になり食事する。

11時頃から、続々と登山者が到着、6人が今夜宿泊のためザックを残して釈迦ヶ岳へ向かった。その後、2名が宿泊予定と入ってくる。外にはテントもあり、大賑わいになってきた。伏拝のエレーナ(ドイツ人)さんも順峯で通過、少しお話して見送った。

食後、内側の仕上げ工事を始める。松本さんが造ってこられたパーツは、長さを調整するだけでピッタリと嵌り、スムーズに取付けできた。

午後1時20分に作業終了。宿泊者多数のため遅くまで工事は出来なかった。南側の窓の取り付け位置を確認して小屋を離れた。灌頂堂裏手の携帯電話が通話できる場所で再び通話テストし、通話が可能であることを確認。数名の登山者にお知らせして、実際に通話してもらった。

午後4時、登山口に下山、エレハウス駐車場で別れて帰宅した。

行動タイム

06:10 太尾登山口 07:20→10:00 深仙小屋・昼食、作業 13:40→16:05 太尾登山口

(記 梶野)